

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成29年												平成30年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~7日	1月 ~14日	1月 ~21日	1月 ~28日	2月 ~4日	2月 ~11日
カンピロバクター	61	68	80	122	83	118	142	87	98	161	109	84	7	8	10	12	10 (11)	7
病原性大腸菌	107	105	89	113	64	135	206	161	102	112	73	110	14	17	14	21	13 (15)	13
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	0	1	7	11	10	13	18	29	9	12	16	3	0	0	2	1	0	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	11	12	15	9	21	32	17	24	24	9	12	2	3	2	7	3	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	16	19	13	17	15	23	27	16	22	19	15	16	3	1	3	5	4	2
腸炎ピリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	3	0	5	9	11	5	14	3	1	0	0	0	0	2	0
ロタウイルス	1	0	1	6	6	3	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1
アデノウイルス	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	1	3	0	0	0	0	0	1
ノロウイルス	7	4	8	6	11	13	8	2	1	3	7	21	2	4	2	5	4	2

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

広島県感染症発生動向週報

平成30年第6週(2月5日~2月11日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市	
一類	0	発生なし	0								
二類	12	結核	12	3	1	2		2	2	2	
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1			1					
四類	1	レジオネラ症	1						1		
五類全数	14	アメーバ赤痢	1		1						
		ウイルス性肝炎(E型, A型を除く)	1				1				
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2		1			1			
		クロイツフェルト・ヤコブ病	1					1			
		後天性免疫不全症候群	1					1			
		水痘(入院例)	4								4
		梅毒	3						2		1
		百日咳	1		1						

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第6週 2/5～2/11)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. インフルエンザ

定点当たり41.1人と、警報レベル(定点当たり30.0人)が継続中です。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は、第6週は61件の報告があり、多い状態が続いています。

なお、第6週の市内の基幹病院2か所による迅速診断結果では、A型陽性が117人、B型陽性が262人報告されています。

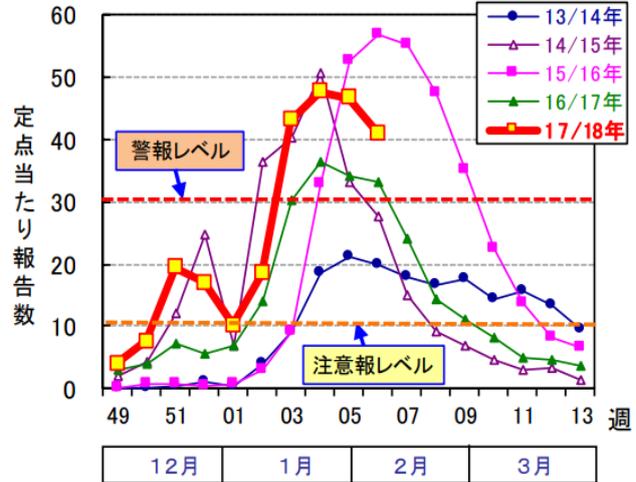
引き続き、手洗いや咳エチケットの励行、人ごみを避けるなど感染予防に努めましょう。

2. 感染性胃腸炎

定点当たり7.79人の報告があり、前週と比べてやや増加しました。また、感染性胃腸炎の集団発生が1件報告されています。

手洗いの励行、便・吐物の適切な処理など感染予防対策を徹底しましょう。

インフルエンザの流行状況



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平過去5年間(注)	発生記号
フィルン	インフルエンザ	1520	41.08	34.84	◇	小児科	流行性耳下腺炎	2	0.08	0.39	
	咽頭結膜熱	-	-	0.28			RSウイルス感染症	7	0.29	0.39	
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	57	2.38	2.43	⇒	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	187	7.79	7.63	◇		流行性角結膜炎	5	0.63	0.55	
	水痘	5	0.21	0.69		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.06	
	手足口病	7	0.29	0.27			無菌性髄膜炎	-	-	0.06	
	伝染性紅斑	-	-	0.30			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.17	
	突発性発しん	7	0.29	0.35			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.02			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	5	0.71		

急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	12	男性(50歳代)・1人、男性(70歳代)・1人
5	ウイルス性肝炎	1	2	女性(30歳代)・B型
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	1	女性(80歳代)
5	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	男性(60歳代)
5	後天性免疫不全症候群	1	1	男性(30歳代)・エイズ
5	梅毒	2	14	男性(20歳代)・1人、男性(30歳代)・1人

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.5)	8	女	2019/01/03	鼻汁	B型インフルエンザウイルス
その他の疾患	肝機能障害 脳炎 脳症 意識障害 ショック症状 呼吸不全	0	女	2018/01/03	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載